

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キッズすてっぷ させぼ (放課後等デイサービス)		公表日		令和7年 12 月 15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・大きく体を動かす活動においては、公園や体育館など、場所を検討するようにしている。	・活動内容を工夫しながら、室内でのプログラムにおいて、子どもの満足感を感じてもらおうように進める事は必要。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・現在いるスタッフで、できる活動を提案しながら、こどもの満足できる事業所を目指したい。	・今後においても、5領域を含む支援や、専門的支援実施を行う等、充実した支援を実施していくには、ゆとりあるスタッフの配置が好ましい。 ・人材確保は、福祉事業所として、課題である。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・階段がある為、昇降が必要な建物となっているが、手すりを活用したり、滑り止めをするなどの対応はしている。	・必要に応じて、滑り止めの強化の検討。 ・階段の昇降においては、一緒に手をつないで歩くなどのフォローは必要である。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・利用後は、掃除、消毒作業など行うようにしている。換気においても、心がけて行っている。	・感染流行時期がある為、情報を収集しながら、感染対策の意識は必要。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・どの場所の自由に行き来できるという事もできない為、視覚的に分かりやすく知らせるようにしている。	・使用できる部屋、そうでない部屋がある為、視覚的に分かりやすいようにしていく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか。	6		・昨年度同様、支援内容、業務内容においては、PDCAサイクルを念頭に置き、設定を見直し振り返りを行っている。	・全員での参加、申し送りなど、スタッフ間の共有内容など、どのような方法で行っているか。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・年に一度、保護者様にもご協力を頂き、アンケートを実施している。ご意向を受け止めていきながら、改善できる工夫をしていきたい。	・スタッフ全員で内容を把握していきたい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・毎日、朝の打ち合わせを行っている。また、月に一度議題を決めての会議を行いながら、改善を行っている。	・全員参加は難しい面もある。どのようにして調整していくか課題である。	

9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		現在外部評価は行っていない。 今後の検討課題とする。	
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉制度や子どもの発達に関する研修に参加をしている。 ・また、虐待防止研修にも参加をしていながら、スタッフ間で周知している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後においても、学べる機会に積極的に参加をしていながら、スタッフの資質の向上を目指していきたい。 	
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページに記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大まかに昨年度を変わない状況であるが、毎年の見直しは必要に感じる。 	
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントの用紙は法人で統一したものとなった為、やりやすくなった。 ・子どもの様子、保護者様のニーズをお聞きしていながら、発達支援課題を整理して、個別支援計画書を作成していくようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様のニーズと、事業所の課題をすり合わせていながら、個別支援計画を作成していくようにする。 	
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援会議では、できるだけ多くのスタッフに参加してもらおうようにしている。また、参加できなかったスタッフに申し送りをしていながら、全員周知をできるようにしている。 ・記録を残している為、スタッフへの周知はできるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議に要する時間は、検討課題である。必要な内容をしっかりと話せる場となると良い。 	
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援会議では、周知や把握をしていながら、共有している。 ・毎日行うミーティングで打ち合わせを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援会議を通して、内容の把握、周知ができると良い。 	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・各種、検査結果を参考にしながら、発達の様子を考慮しつつ、実態把握を行うようにしている。 ・アセスメントや日々の記録をもとに、どのような状況か確認するようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・検査結果においては、検査された方に直接アドバイスなど聞ける場があると良ように感じる。

16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	・ガイドラインに沿った計画作成に努めている。	・ガイドラインの内容をスタッフに周知できるようにする。 ・会議を通して、ガイドラインの内容を把握できる場を作っていく。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・スタッフ全員で案を出し合い、作成している。その意見を取り入れながら、活動を進めるようにしている。	・意見交換できる場の充実。 ・5領域を取り入れていく。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・「健康、生活」「運動、感覚」「認知、行動」「言語、コミュニケーション」「人間関係、社会性」5領域を意識しながら、固定化しないように工夫している。	・情報収集していく。 ・楽しく学べる活動の提供。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		・個別活動、集団活動、専門職支援の実施を行っている。ニーズに合わせて取り組みを進めていけると良い。 ・個々の発達状況に応じて、コミュニケーション面への目標を取り入れた支援計画を作成している。	・個別支援計画書の内容の共有。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・その日に行われる活動の確認や、役割や、子どもの見守りなど確認しながら進めている。	・話を聞く、実行する、ルールに沿って友達と遊びが楽しめる経験に繋げていくには、やはり手あついスタッフのフォローやサポートは必要。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・大まかな内容においては、その日に全員で周知している。翌日に話し合いの場を設けながら、振り返り、気づきの点を共有するようにしている。	活動が思うように進まない時には、打ち合わせ不足も考えられる為、支援の内容や役割において、意識して前もっての打ち合わせを行うようにする。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・記録においては、見直しも行いながら、状況、様子、働きかけ、対応なども記入している。	・良い支援、良い記録は今後の課題。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・必要な時期にモニタリングを行い、方向性を見直し、個別支援計画の作成に繋げている。	・モニタリングだけではなく、家族支援を取り入れながら、保護者の方と子どもの様子を共有できる場を作っていけると良い。

	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせることで支援を行っているか。	6		・子どもの発達の様子やニーズに沿っての支援を提供している。結果的にガイドラインとリンクした支援になるように努めている。	・自然と活動にとりかかっている内容であるが、改めて意識しながら取り組みを進めていく事は必要。 ・スタッフ間で周知する事を進めていく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1	・体験を通して選択する力が育つ工夫はしている。	・どんな方法があるか、学びながら進めていきたい。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・主に、児童発達支援管理責任者が出席しているが、経験あるスタッフも同席しながら、支援の内容を一緒に考えていく事も行っている。	・児童発達支援管理責任者の育成も含め、経験あるスタッフの参加も進めていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3	・地域の保健、医療との連携がとれていない現状。まずは、学校との連携を行うようにする。	・地域の保健、医療、協力医との連携方法。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	2	・情報共有は、学校訪問を通して行うようにしている。	・学校、事業所、両方で足並みを揃えて保護者様に安心して通って頂けるようになるとう良い。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	・園、学校の訪問を通して、今後繋げる支援の第一歩を進めていけるよう、園訪問、学校訪問を継続して行っている。	・連携をしていくには、園や学校の先生方のご協力も必要となってくる。訪問の目的などを伝えていきながら、子どもの様子の共有していけると良い。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3	・併用していた事業所と共有しながら、進めている。	・移行を行い、様子を共有する時間の確保が難しい面もある。どのようにして協力をしていくか、課題。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		6	・現在は行っていない。	・現在は連携がとれていない為、今後の課題。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6		・今年度においても、児童館の夏祭りやマルシェに参加していきながら、地域交流の機会を取り入れていた。昨年同様、地域の場に慣れる、過ごすといった経験に繋がり、良い機会だったように感じる。無理をしないように、楽しめる事を基本として継続していけると良い。	・他事業所との交流も取り入れながら、出会う、交流が楽しめる機会に工夫しながら、社会性の育みにも心がけていきたい。
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		6	・参加できていない。	・こどもふくし協議会に参加している。届く資料などの確認を今後もしていく。	

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・送迎の場面だけでは難しい面もあり、モニタリングの時期や必要に応じて連絡をとり、様子を共有できる時間を作っている。	・家族支援加算を保護者様へ周知しながら、今後も取り入れて行けると良い。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5	・何か役立つ方法など、実践マニュアルなどを見ていきながら、知識として深められるようにしている。	・必要に応じながら、取り入れていく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	・利用前に説明している。	利用開始前には説明を行っているが、何年も利用している方へ新たに説明が必要と感じる時がある。どのように機会を作っていくか今後の課題。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		個別支援計画の案が必須となっており、意向をお聞きしながら、案をもとにご希望などを再確認している。	・書類面が多くなっている為、保護者様にご説明する時間の確保をどのようにしていくか課題である。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		・項目など多くなっているが、一つずつ説明している。	・説明する場所、時間をどのように確保していくか、保護者様のニーズを聞きながら検討は必要。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・今年度は、家族支援加算を通して、居宅、事業所内にて、お話を聞く時間を作っていた。必要に応じてお話を聞ける時間を作っていきたい。	・家族支援加算、子育てサポート加算などの周知をしていきながら、気軽に話せる場所を提供していけると良い。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	5	・保護者会は行っていない。 ・今年度は、法人内全事業所において、イベントを行い、たくさん保護者様に来て頂いた。子ども、保護者様、スタッフとの間での良い交流の機会であったように感じる。	・ニーズは様々であり、保護者様の意向を聞きながら、進めていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・苦情窓口を設置し、苦情受付担当者、苦情解決責任者を配置している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・ブログでの活動の様子のお知らせ、ラインを活用した案内を行っている。 ・活動内容も、一カ月のスケジュールを保護者様に案内をしている。	・新規のご利用様には、全てご案内ができていない事もある為、適切なタイミングでしっかりと周知できるようにしていきたい。

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・施錠を行い、十分に気をつけている。	・必要に応じて、施錠方法を検討していく。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・聴覚に障害のある子どもにおいては、周囲の子どもや大人も意識できるよう活動を取りれている。(手話や指文字) ・ルールの見える化を取り入れている。	・分かりやすいような視覚支援は、どのような場面で必要か、スタッフ間で再度共通認識は必要。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	現在、行っていない。	・地域の方からの理解、交流が必要な時もあるかと感じる。どのように機会を作っていくか今後の課題。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	・各種マニュアルの作成はしているが、周知までできていない。	・保護者様にどのように周知していくか今後の課題。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・委員会を設置しており、事業所内にて周知、報告の研修も行っている。 ・訓練も行っている。	・様々な想定をしながらの訓練方法を検討していく事は必要。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・服薬が必要な際は、服薬依頼書に記入して頂き、服用している。2名のスタッフ間で間違いないか確認をしながら進めている。 ・てんかん、熱性けいれんの坐薬においては、医師の指示書をもとに行動を行うようしている。	・必要に応じて、対応していく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3	・食物アレルギーの子どもの利用の際には、スタッフ間で周知している。 ・食べ物に関しては、必ず保護者様に確認をしている。 ・アレルギー注意のプレートを出しながら、スタッフ間で共有している。	・医師の指示書までは頂いていない為、保護者様と連携をとり、確実な方法をしっかりと把握していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		・安全計画は作成している。 ・ホームページに記載されている為、保護者さまへの周知をしている。	・日々の業務の中で、必要な事柄などを整理していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	3	・安全計画マニュアルは作成されているが、しっかりと周知まで行っていない。	・どのような方法で周知していくか、課題である。

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・記録を残して、スタッフ間で周知後話し合いをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じ、スタッフ間で共有、対策を考えていく。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集をしながら、研修に参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容を、事業所へ周知、研修をしていくようにする。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束に至るまではないが、場面を想定して、意図をお伝えしている。(戸外、室内においての危険回避) 	